

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」東加古川駅前事業所

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			・市の規定に従い定員を定めている
	②	職員の配置数は適切である	○			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○		・事業所に入る前に階段を利用する必要があり一部バリアフリーではない。事業所内はバリアフリー。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			・毎回清掃、消毒を行っている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			・毎回実施している。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			・毎年、評価表による事業所評価を実施している。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			・ホームページにて公開している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			・毎月、事業所内での事例検討、グループ内での定例研修を実施している。
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			・アセスメントシートを用いて客観的に分析している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			・アセスメントシートを使用している。

の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			・ガイドラインに沿って計画の作成や支援へ反映させている。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			・計画に沿って支援を行っている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			・支援を毎回計画的に考え、個々に合わせておこなっている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○			・個別と集団を用いて計画に基づき支援を行っている。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			・毎支援後に必ず記録、保存をしている。
関係機関や保護者との連携関係	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			・少なくとも6ヶ月に1回、モニタリングを行っている。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			・管理者や児童発達支援管理責任者が参加し、状況に応じて指導員等も参加している。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			・必要に応じて連携を行っている。
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		・医療的ケアが必要な利用者様は通所していない。服薬・検査・通院等、医療の情報は保護者から密に連絡をとっており、医療的ケアが必要な子どもは受け入れていない。

機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			・医療的ケアが必要な子どもの受け入れを行っていない。
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			・必要に応じて連絡をとり情報共有を行っている。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			・必要に応じて連絡をとり情報共有を行っている。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○			
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			・毎支援後にフィードバックを行い、支援の様子を伝えたり、最近の生活について聞き取りを行ったりしている。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			・契約時やモニタリング時等に、その都度説明を行っている。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			・計画を作成、変更する際に説明と同意を求め、署名と捺印をいただいている。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			・保護者会等機会があれば参加するが、プライバシーの観点から、行っていない。

	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			・契約時、対応についての説明を行っている。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			・Line やブログを活用し、活動内容等を発信している。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○			・個人情報を含む書類の管理場所や方法を徹底し、不用書類はシュレッダーしている。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			・マニュアルに則って年1回の職員研修を実施。年に2回、利用者様も参加して訓練を実施。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			・毎月、防災訓練を実施している。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			・アセスメントシートで聞き取りを行い一人一人の状態の把握を行っている。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		・食事の提供はしていない
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			・ヒヤリハット発生あれば、情報を共有し保管している。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			・毎年、虐待に関する研修を実施している。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			・現時点で拘束が必要になる利用者はいない。研修により、身体拘束に関する対応を組織的に決めている。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2020年2月8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」東加古川駅前事業所 保護者等数（児童数）：7 回収数：4 割合：57%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4	0	0	0	広々と使わせていただいています	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	4	0	0	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	0	0	0		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	0	0	0		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	4	0	0	0	本人に沿ったプログラムで進めていただいていると思います	個別支援計画に沿って支援をすすめております
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	0	0	0	本人の興味のあることから支援へとつなげて下さっています	
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	4	0	0	0	いつも色々なパターンの支援をして下さっています こどもの好きなキャラクターを用いて興味が出るように教材を作成してくれている	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	2	0		
保護者への説	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	4	0	0	0		

明 等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3	0	1	0	希望していないので大丈夫です	
非 常 時 等 の 対 応	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4	0	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	0	0	0	支援後いつもしていただいています	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	2	0		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	4	0	0	0	困っている事などよく聞いて頂いて、お勉強の時間に取り入れていただきありがとうございます	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4	0	0	0	支援後、次回の支援へとつないで下さっています 幼稚園や家庭でのことをよく聞いてもらっています	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2	1	0	1	最近 SNS 等チェックしていない	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	4	0	0	0	封筒に入れていただいたりしています	
非 常 時 等 の 対 応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	4	0	0	0	本人は参加していませんが、予定表に書いてありました	
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	0	0	0		
満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	4	0	0	0	毎回とても楽しそうです	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	4	0	0	0	家ではつきっきりで見てやるのがなかなか難しいのでありがたいです 兄弟が来ても相手をしてもらっており助かっています	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。